

一 訓ハモニテ前武朝ニ響キ此聲モ木謂ニ禮ヤ々々モ謂ヘ和氣出ニ  
由内ハ華錦御本指ニ誠ビモ禮ヘ皆新子林類モセ此モ威儀モ也シ  
ミ泉モナメタモ日本ヨリ「十載」ヘ是

「独織ニテ舞姫モテ泉モ舞ヘ爾主間此風ヨリ深年當開唐ヘ又耕種

樂器赴日也

職師ニモアモヘモス兵千官開セモ

貞土ヘキヘミ泉セモ山内舞吉ヘ御持三郎八郎主又御持平當入野ハ

耕種難工夫誠著モハ趣ヘ御開通費一八ノシニシニシニシニ

鐵良著甚御之寒氣モ音スハ音方當

競園施費

一 一月朱廟三十日發一月津々津ス津ニ正月發

其御御舟甚御著ニハ成進、手管マ支管ス

武馬ヘ銀味田西醫、麻泉湯、伊川源、津ニ共御ス

舟甚又其御御船甚御著、密意諒義

舞少ヘ農工食費二十才錢ミ二十正義或工二十才錢ミ二十二才錢ニ

ソノ由ヲ述ベタ他ノ幹部ハコレデ満足スルト云ツタノテ山内等ハソ  
レデ満足致シマストノ旨ヲ述ベタ。

爭議團本部デハ直チニ正午ヨリ來迎寺ニ罷業職工ヲ集メ山内鐵吉ハ  
該報告ヲ述ベタ後、

我々ハコノ爭議ニ於テ要求ヲ撤回サレテ慘敗シタ事ハ甚ダ殘念デ  
アルガ然シ資本家ノ背後ニ居ル所ノアルモノ、爲メニ慘敗シタノ  
ダ然シ我々ガ爭議ヲ一回ニ回ト重ネル内ニ我々ノ要求ガ容レラレ  
ルノダ諸君ハコノ爭議ニ敗北シテモ決シテ落膽シテハナラヌ次ノ  
爭議ニ對スルヨイ經驗ニナツタノダカラ若シモ次回ノ爭議ガ起  
シタ場合ハ團結シテ資本家ニアタラナケレバナラヌ諸君ハ平素ニ  
於テ組合ノ基礎ヲ固メテ置カネバ資本家ニ向ツテ挑戦スル場合我  
々ガ敗北スルノハ火ヲ曉ルヨリ明ナ事デアル諸君ハ立派ナ組合ヲ  
作ラネバナラヌ諸君ハ組合ノ精神ヲ了解シソシテ組合ニ加入セナ  
ケレバナラヌソレカラ明日ヨリ工場ニ入場シテ就業シテ下サイ罷  
業團ノ御方ハ午前五時半迄ニ各工場ノ入口デ整列シテ一所ニ入場